

原著

英文

1. Eiji Hirakawa, Hironobu Tokumasu, Latdavanh Vorlasane, Abubakarr B Bah, Isamu Hokuto, Ayako Seimiya, Machiko Morita, Mitsuaki Matsui. Study protocol of "A preterm infant life-saving package including a simple and affordable incubator and a portable flow generator mask-CPAP in resource-limited settings" SAVE preterm trial, saving preterm infants by adopting vital equipment. *BMC Pediatr.* 2025 Oct 3; 25: 763.
2. Takeshi Inoue, Jumpei Iwanami, Chiie Kuroiwa, Mio Mizukoshi, Kohei Togashi, Yuka Hatayama, Akira Nagai, Akemi Tomoda, Douglas W. Woods, Hiroshi Ozawa, Kimiko Deguchi, Kyoko Hoshino, Mizuki Kobayashi, Maiko Nonaka, Natsumi Matsuda, Ryuta Ishii, Ryoko Otani, Shinichiro Nagamitsu, Tatsuo Fuchigami, Tasuku Kitajima, Yukihiko Fujita, Yukiko Kano, Yoshifumi Mizuno, Yukifumi Monden, Yuichi Suzuki, Ryoichi Sakuta. A randomized controlled trial of remote group-based comprehensive behavioral intervention for Tics. *Eur Child Adolesc Psychiatry.* 2025 Nov 15. doi: 10.1007/s00787-025-02912-5.

和文

1. 森内優子, 湊上達夫, 森岡一朗. 医学生を対象とした子ども虐待に関する意識調査. *日大医学雑誌*, 84(4): 171-180, 2025.
2. 森内優子, 湊上達夫, 堀江未央, 神山ハ弓, 森岡一朗. 過量服薬の小児に対する入院加療の有用性の検討. *子どもの心とからだ*: 印刷中, 2025.

症例報告

英文

1. Yuko Moriuchi, Tatsuo Fuchigami, Ichiro Morioka. A case report of a boy with clinically mild encephalopathy and a reversible splenial lesion associated with severe acute respiratory syndrome-Coronavirus 2 infection. *Cureus* 17(3): e80241, 2025. DOI 10.7759/cureus.80241
2. Yuki Gunji, Ryoji Aoki, Nobuhiro Nagano, Masako Aoki, Aya Okahashi, Koichiro

Sumi, Ichiro Morioka. An infant with achondroplasia worsening of the foramen magnum stenosis during early vosoritide treatment. *Pediatr Int.* 67(1): e70089, 2025.

3. Mio Horie, Tatsuo Fuchigami, Tadayasu Kawaguchi, Mika Ishige, Ichiro Morioka. A pediatric case of hypokalemic paralysis with fatigue and myalgia. *Cureus* 17(12): e99022, 2025. DOI 10.7759/cureus.99022

和文

1. 魚本和俊, 淵上達夫, 堀江未央, 山田隆太郎, 森内優子, 清宮綾子, 土方浩平, 古屋武史, 森岡一朗. 特発性急性腓炎の1小児例. *日大医学雑誌*, 84(1) : 19-22, 2025.
2. 軽部春帆, 森内優子, 堀江未央, 田中恭子, 淵上達夫. 多職種で支援した分離不安の1例における子ども療養支援士の役割. *子どもの心とからだ*: 印刷中, 2025.

総説・その他

1. 古屋武史, 土方浩平, 森内優子, 淵上達夫. 子ども家族支援委員会の設立. *小児外科*, 56(11): 1128-1131, 2024.
2. 清宮綾子, 森岡一朗. 【NICU入院から退院までの流れで整理!身近に感じられる 新生児領域の診療報酬】 サイトメガロウイルス核酸定量/アルブミン非結合型ビリルビン. *with NEO* 38(4): 529-534, 2025.
3. 清宮綾子, 市塚清健, 祝原賢幸, 國方徹也, 近藤昌敏, 光田信明, 森岡一朗. 日本周産期・新生児医学会社会保険員会のこれまでの実績(保険収載事例) 令和6年度診療報酬改定での実績 適応拡大されたサイトメガロウイルス核酸定量とアルブミン非結合型ビリルビン(解説). *日本周産期・新生児医学会雑誌* 60(4) : 791-795, 2025.
4. 軽部春帆. 日々の想いに寄り添う. *子ども療養支援協会通信*, 39: 10-11, 2025.

著書

1. 瀧上達夫：小児の Guillain-Barré 症候群. (永井良三総編集) 今日の診断指針 第9版, pp. 1812-1814, 医学書院, 東京, 2025.
2. 清宮綾子：RS ウイルス感染症予防. (新生児医療連絡会編) NICU マニュアル 第6版, pp. 326-329, 金原出版, 東京, 2025.

学会発表

一般演題

1. 軽部春帆, 森内優子, 堀江未央, 小松まどか, 茂木理奈, 瀧上達夫: 子ども療養支援士による関わりが有用であった分離不安の1例. 第15回日本小児心身医学会関東甲信越地方会, 東京, 2025. 2. 9.
2. 吉本侑平, 森内優子, 安藤潤子, 瀧上達夫: 箱庭療法などによるイメージ表現の体験が起立性調節障害の症状改善に寄与した1例. 第15回日本小児心身医学会関東甲信越地方会, 東京, 2025. 2. 9.
3. 郡司優希, 高橋雄一, 魚本和俊, 小島英雄, 高橋智子, 森内優子, 清宮綾子, 赤嶺ゆみ, 根岸 潤, 瀧上達夫: 下肢 MRI 検査が有用であった抗 nuclear matrix protein (NXP)-2 抗体陽性若年性皮膚筋炎の1例. 第198回日本小児科学会埼玉地方会, さいたま市, 2025. 2. 16.
4. 森内優子, 瀧上達夫, 森岡一郎: 子ども虐待に関する医学生意識調査-第2報-. 第563回日大医学会例会, 東京, 2025. 3. 1.
5. 森内優子, 小川菜央, 鈴木彩奈, 原 優太, 吉本侑平, 柳澤 功, 瀧上達夫: 養育困難に伴うやせに対して多機関連携による支援を行った幼児例. 第11回日本小児診療多職種学会, 広島, 2025. 3. 8.
6. 大橋裕子, 瀧上達夫, 光藤 尚, 高橋浩一: 脳脊髄液減少症を経験して～小

児科医にできること～. 第4回日本脳脊髄液漏出症学会学術集会, 東京, 2025.3.15.

7. 山西未穂, 高橋智子, 赤嶺ゆみ, 根岸 潤, 山田隆太郎, 高橋雄一, 森内優子, 小島英雄, 堀江未央, 瀧上達夫: 喘息の治療抵抗性をみとめびまん性汎細気管支炎と診断した1例. 第199回日本小児科学会埼玉地方会, 浦和, 2025. 5. 11.
8. 軽部春帆, 原 大樹, 土方浩平, 古屋武史. 子どもと家族の声から振り返る手術プレパレーション. 第12回日本子ども療養支援研究会, 東京, 2025. 6. 21.
9. 森内優子, 軽部春帆, 瀧上達夫. 被虐待児におけるキワニスドールの有用性. 第12回日本子ども療養支援研究会, 東京, 2025. 6. 21.
10. 柳澤 功, 瀧上達夫, 小野義久, 清宮綾子, 戸田 桂. 妊娠期から切れ目ない支援体制の構築 地域で妊婦とその家族を支えるためのソーシャルワーク実践の考察. 第45回日本医療社会事業学会(三重大会), 三重, 2025. 6. 21, 22.
11. 森内優子, 瀧上達夫, 郡司優希, 堀江未央, 清宮綾子, 赤嶺ゆみ, 近藤朱音, 大塚充子, 森岡一朗. 起立性調節障害が疑われた新起立試験を行った小児患者の臨床的検討. 第72回日本小児保健協会学術集会, 金沢, 2025. 6. 28.
12. 清宮綾子, 松本真美子, 藤井美咲, 森田真知子, 北東 功, 松井三明, 平川英司. 2023-2024年にシエラレオネ共和国南部にあるSpecial Baby Care Unit(SBCU)に入院した児の実態調査. 第61回日本周産期・新生児医学会, 大阪, 2025. 7. 13-15.
13. 國方徹也, 清宮綾子, 側島久典, 細野茂春, 峯 真人, 森脇浩一, 大山昇一. 埼玉県の入院データベースからみた近年のRSV感染症流行の変遷と今後のニルセビマブ投与方針に関する考察. 第61回日本周産期・新生児医学会, 大阪, 2025. 7. 13-15.
14. 柳本嘉時, 瀧上達夫, 井口敏之, 井上久美子, 北島 翼, 呉 宗憲, 佐藤

- 明弘, 東 佐保子, 太田秀紀, 岡田 剛, 加藤善一郎, 佐藤洋一, 森内優子. 発達障碍児への対応における医療と教育の連携について—教員に対するアンケート調査からみた現状と課題—. 第 43 回日本小児心身医学会医学学会学術集会, 東京, 2025. 9. 19.
15. 軽部春帆, 森内優子, 堀江未央, 田中恭子, 瀧上達夫. 家族支援における子ども療養支援士の取り組み. 第 43 回日本小児心身医学会医学学会学術集会, 東京, 2025. 9. 19.
16. 森内優子, 軽部春帆, 堀江未央, 神山ハ弓, 瀧上達夫. 不登校やひきこもりの小児に対する医療機関と訪問看護の連携支援. 第 43 回日本小児心身医学会医学学会学術集会, 東京, 2025. 9. 20.
17. 赤嶺ゆみ, 杉山千央, 中ノ森 綾, 堀江未央, 森内優子, 根岸 潤, 瀧上達夫, 上島洋二, 佐藤 智, 菅原栄介. 当院小児アレルギー外来通院中に IgG2 低値を示し小児専門施設へ紹介した症例の検討. 第 62 回日本小児アレルギー学会学術大会, 大阪, 2025. 10. 4, 5.
18. 郡司優希, 堀江未央, 中ノ森 綾, 山田隆太郎, 高橋智子, 森内優子, 清宮綾子, 赤嶺ゆみ, 根岸 潤, 瀧上達夫. 腸炎を契機に発症した急性膵炎の 1 例. 第 38 回第 37 回日本大学医学部小児科関連病院研究会, 東京, 2025. 10. 18.
19. 郡司優希, 岡橋 彩, 向井千尋, 呉 英俊, 佐藤優希, 今泉隆行, 土方みどり, 不破一将, 長野伸彦, 森岡一朗. small for gestational age 児のみ先天性サイトメガロウイルス感染症であった双胎. 第 69 回日本新生児成育医学会・学術集会. 横浜市, 2025. 11. 15.
20. 川名俊諒, 根岸 潤, 郡司優希, 堀江未央, 中ノ森 綾, 山田隆太郎, 高橋智子, 森内優子, 清宮綾子, 赤嶺ゆみ, 山西未穂, 瀧上達夫. 性感染症が否定的であった多発骨盤内膿瘍の 14 歳女子例. 第 201 回日本小児科学会埼玉地方会, さいたま市, 2025. 12. 7.
21. 郡司優希, 山西未穂, 川名俊諒, 堀江未央, 中ノ森 綾, 山田隆太郎, 高橋智子, 森内優子, 清宮綾子, 赤嶺ゆみ, 根岸 潤, 瀧上達夫. 腸炎を契機に発症した急性膵炎の 1 例. 第 201 回日本小児科学会埼玉地方会,

さいたま市, 2025. 12. 7.

その他の講演

1. 森内優子. 子どもたちの健やかな成長のために関係機関ができること. 朝霞保健所子どもの心のネットワーク事業. 朝霞, 2025. 1. 15.
2. 森内優子. こどものこころと脳の育て方. 朝霞市育み支援バーチャルセンター事業. 朝霞, 2025. 2. 1.
3. 森内優子. 医療と教育のより良い連携を目指して. 富士見市通級指導教室. 富士見市, 2025. 3. 17
4. 清宮綾子. 周産期棟での小児科診療について. 第4回垣根を超えた関係づくりの会. 富士見市, 2025. 6. 12.
5. 森内優子. 救急現場で出会う子どもたち～小児科医が伝えたい大事なこと～. 第13回救急隊意見交換会. 富士見市, 2025. 7. 4
6. 森内優子. 教育と医療の連携について～未来を切り拓く子どもたちを支えるために～. 入間東部地区教育委員会連絡協議会. 三芳町, 2025. 7. 9
7. 森内優子. 子ども虐待の早期発見と対応について. 日本医療メディエーター協会. Zoom, 2025. 10. 4.
8. 山田隆太郎. 熱性けいれんについて. 令和7年度 第5回イムス富士見総合病院 市民健康講座. 富士見市, 2025. 10. 30.
9. 森内優子. 朝, 起きられないのにはワケがある?. 第5回垣根を超えた関係づくりの会. 富士見市, 2025. 11. 5.
10. 清宮綾子. 埼玉県におけるRSウイルス通年性流行地域への変化とその対応. RSV Expert Webinar in SAITAMA. Web, 2025. 12. 16.
11. 森内優子. 第2回通級と医療のより良い連携を目指して. 富士見市通級

指導スーパービジョン，富士見市． 2025. 12. 17.

12. 森内優子． 第4回教育相談室と医療のより良い連携を目指して． 富士見市教育相談室，富士見市． 2025. 12. 22.